

2020年度学校評価報告書(香里ヌヴェール学院小学校)

学校目標	カトリックの人間観・世界観(Men for others)にもとづく教育を通して、愛・奉仕・正義に生きる子どもによるThe Marvelous Schoolを実現する。
	21世紀型教育により、「クリエイティブな思考力」、「自分の考えを他人にもわかるように表現する力」、「互いが納得できる最適な答えを見つける課題解決に協働できる力」の3つの力を育成し、「men for othersの精神に基づいた平和な社会を作り出す子どもたちを育成する。

21世紀型教育

課題解決学習 (PBL)	新しい社会を創造するために課題解決力を身につけるProject (Problem) Based learning
英語教育	英語運用能力を基礎から段階的に培う週4時間の英語授業 (SSC) / 複数教科の授業の60%を英語で行うイマージョン教育 (SEC)
ICT教育	PBL型授業の学びを促進し、高度情報化社会に対応する能力を育むICT教育

重点目標	取り組み計画・内容	評価指標	自己評価	学校関係者評価
21世紀型教育実践による教育充実 (PBL・英語教育・ICT教育)	1. SECイマージョン教育, PBL型授業の導入	・イマージョン授業の円滑な導入と実施ができたか。 ・学年進行に合わせたPBL授業の導入・実践ができたか。	・1・2・3・4年生は、スーパーイングリッシュコース(英語イマージョン)とスーパースタディーズコース(課題解決型学習)の2コース体制の実施。 ・「大阪聖母学院小学校」入学の5・6年生対象に、外部講師と連携し、「社会とつながる」ことを目的とした自分の課題を探求するProjectBasedLearningの実践を総合的な学習の時間に行った。	・休校になったことで自宅で学習させる大変さを味わい、いつも学校で普通に行っているありがたさがわかった。休校中、課題は少ないように感じたが、一生懸命子どもたちに何ができるかを考えてくださる様子がわかりうれしかった。
	2. 学校生活への満足度アップ (1)英語教育	・英語による質問や発語に慣れ、英語でコミュニケーションしようとする意欲が育ったか。	・1・2・3・4年生SSCは、週3時間+モジュールタイム10分間×4回の英語授業を実施。 ・SECは、60%を越える授業を英語で行うイマージョン教育を実施。(国語・社会・特活・宗教を除く) ・5年生から6年生 週2時間+モジュール10分×4回の3単位時間にわたる英語授業。 ・英語の授業は全て複数担任制で実施した。	・先生がノートやプリント、子どもたちをよく見てくださっているのが、勉強に前向きに取り組んでいます。例えば宿題をする際、「Aをもらいたいから、汚い字があれば、どう直せばいいか教えてね」と自分から言いだし、丁寧な字を書こうと努力しています。本校で学ばせることができ、本当に良かったと思っています。
	(2)ICT教育	PBL学習を促進するツールとしてiPad/Chromebookを学習場面で使用できたか。	・SSCはChromebook, SECはiPadと、1人1台環境の整備は整った。 ・Wi-Fi環境に負荷がかかり、一斉に起動させたり、操作することが難しい現状もある。よりよい環境整備が今後の課題である。 ・コロナによる登校不安の家庭には、授業の一部をオンラインで対応した。	・英語教育について、息子の英会話を聞き取る力がレベルアップしていると感じています。耳から自然と入ってくる、そのような感覚を子どもたちが実感しているようです。
	(3)探究型教育(PBL授業)	各教科内におけるペア・グループによる探求型教育(PBL授業)の成果があったか。	・PBLを教科横断型としてのPBL(Project Based Learning)と、教科学習でのPBL(Problem Based Learning)と位置づけ、日常の授業においても、各単元の要所に課題解決型の学びを取り入れることを意識した。 ・低学年においては、日常の対話を通じたクリティカルな授業とフレクションをくりかえし、PBL型学習の土壌となる授業づくりに努める。 ・高学年では、自分で課題をもち、探究し、まとめ、プレゼンテーションをする学習形態の実施によって、論理的思考力が高まるように努める。また総合的な学習の時間の取組を次年度に活かし、PBLの「明確な評価基準」を作り上げることを目指す。	・英語教育に力を入れているようだが、子どもたちの理解はともなっているのか、英語の授業がつまらなくわからないと子どもが言っている。 ・漢検や数検を取り入れているが、英検も取り組んでもらえたらありがたい。 ・評価テストは複数枚での評価をしてほしい。テストのために沢山練習問題をしてほしい。 ・金曜日のお祈りが再開し、神父様や先生方から貴重なお話が聞ける機会ができ、嬉しく思う。 ・遠足や運動会がないのはしかたがないと思うが、いろいろな工夫で子どもたちがよるこぶイベントもできるのでは？
教育のレベル向上	21世紀型教育実施のための各種研修	各種研修の実施の有無	①教職員のスキルアップのための各種研修の実施 i)英語教育 ・SEC部会によるイマージョン教育の研究と実践の共有 ii)探究型教育 ・PBL研修と授業実践。 iii)ICT教育 ・ICT支援員によるChromebook活用法の研修。 ・休校に備えたSeesaw活用の学内研修。 iv)宗教教育 ・カトリック精神の理解と醸成のための研究(聖書)および研修 v)生活指導・保護者対応、特別支援教育(外部講師) ・学内教員研修会の実施 vi)初任者研修 ・初任者指導 ・管理職と初任者による模擬授業、実践交流の研修会実施。	<p>学校教育目標・目指す子ども像は保護者の願いにかなっている。</p>
教育環境の整備	安心・安全な環境の構築	各種工事の実施	①設備の点検と改修 ・PGB含有安定器処理及び照明機器改修(法令による実施) ・防火設備定期点検 ②防災・防犯設備 外灯設置 ③ICT機器整備 ・全学年1人1台ICT機器の整備	<p>わが子を香里ヌヴェール学院小学校に入学させて満足している。</p>
募集・入試に係る事業	新入生募集定員確保	・本校教育活動への信頼感獲得とアドミッションポリシーの理解の浸透は実現したか ・募集定員90名の充足	・募集関連行事として年長児・年中児を対象に幼児体験会を企画したが、コロナ禍のため、中止やオンライン対応となった。 ・2021年度入学生は80名となり募集定員充足に届かなかった。 ・私学の中での本校の価値を再認識し、カトリックの価値観にもとづく、一人一人を大切に教育活動の安定と充実をはかる。 ・ホームページの更新とFacebookによる学校情報発信の頻度を高め、ステークホルダーのみならず、一般の方々にも本校の教育活動をアピールしていく。	<p>わが子を香里ヌヴェール学院小学校に入学させて満足している。</p>